

平成30年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サザン地区レロルワネ村幼稚園建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和3年10月14日

令和3年10月14日、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「サザン地区レロルワネ村幼稚園建設計画」の引渡式が、星山隆駐ボツワナ日本国大使、エドウィン・ディコロティ保健大臣、被供与団体「サザン地区評議会カニエ地区支部」関係者等出席の下、レロルワネ村にて行われました。

本計画により、サザン地区、カニエ村より105Km離れたレロルワネ村に位置する、レロルワネ小学校の敷地内に幼稚園が建設され、約30名の幼児及び今後入園する村の幼児が、適切な環境で幼児教育を受けられるようになりました。

引渡式において、星山隆大使は、「日本の幼児教育は1976年より開始され、現在日本では5歳以上の幼児の大半が保育園・幼稚園にて教育を受けている。幼児期は、柔軟に物事を学ぶことが出来る貴重な時期であり、コミュニケーション能力及び適応力などの発達に大きく影響すると言われている。今回のプロジェクトで建設されたこの幼稚園が村の幼児の将来に大きく貢献出来ることは大変喜ばしい事である。」旨述べました。



(写真) 星山大使と来賓



(写真) 幼稚園前に立つ星山大使とディコロティ保健大臣